



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2017年12月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもちました方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年も残りわずかとなりました。

今年最後の子森通信では、簡単ですが1年の活動をふり返り、成果を確認しました。

共に推進していただいている活動の成果です。ご共有いただければ幸いです。

来年も、その成果を踏まえて、さらに活動を展開してまいります。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、新しい年が皆様にとって意義ある年となります様お祈り申し上げます。

(写真：ライトアップされた“どんぐり”の苗木 / 滋賀県「崇徳保育園」提供)

(目次)

1. 2017年の活動をふり返って
2. 「エコプロ2017」出展レポート
3. 事務局からのお知らせ

●新・どんぐり博士の育苗講座(2017年12月号)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

NPO法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人自然体験活動推進協議会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



1. 2017年の活動をふり返って

年末にあたり、2017年の主な活動をふり返り、共にその成果を確認したいと思います。

●「全国集会&研修会2017広島大会」開催

～川のまち広島から、子どもの森を考える～

2017年2月14日（火）、15日（水）に、全国集会&研修会が開催されました。同集会&研修会は、年に一度、活動参加園が集い、より良き活動のための情報交換と交流を深めることを目的に開催されました。今回の開催場所は広島。地元参加園有志により実行委員会が結成され、その準備にあたっていただきました。今回は、地元の郵便局の局長さんにもご参加いただき、有意義な会合となりました。



●「東北復興グリーンウェイブ」東北の“どんぐり”の苗木を植え替える活動

2017年4月23日（日）岩手県山田町の苗畑で育てられて来た東北の“どんぐり”の苗木を植え替える活動が行われました。植え替えられたのは、山田町のシイタケ名人芳賀榮三さんの“しいたけの森”。シイタケづくりは、山田町の復興産業です。苗木は、大きくなってシイタケの「ほだ木」として活用されます。



●ナツオワキャンプ2017

2017年8月26日（土）、27日（日）の一泊二日で、自然体験、環境学習キャンプ「ナツオワ（夏の終わりに）2017」が開催されました。ナツオワキャンプは、非日常の自然環境の中でのみ子どもたちに提供できる、まるごと自然と環境体験の提供と、そのプログラムづくりを目的として開催されます。今年は、福井県「前坂キャンプ場」での開催となりました。



●UNDB-J 連携事業認定表彰式

2017年9月16日（土）、神戸国際会議場にて開催された「第7回生物多様性全国ミーティング」において、JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」が「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」認定連携事業第10弾として表彰されました。



●JP子どもの森づくり運動10周年記念企画

活動10周年を控え、これまで蓄積された膨大な活動の実績を検証し、成果をとりまとめ、活動の次の展開につながる成果物として結実させることを目的とする「10周年記念企画」をスタートしました。

2. 「エコプロ2017」 出展レポート

J P子どもの森づくり運動では、今年も国内最大の環境展「エコプロ2017」に出展しました。開催期間中、出展ブースでは、活動全般に渡る情報発信を行い、イベントステージでは、「東北復興グリーンウェイブ」のアンバサダー“どんぐり〜ず”の進行で「東北復興グリーンウェイブ」の福島県における活動発表と参加園卒園児による和太鼓のパフォーマンスが行われました。（*ホームページにて詳細レポート中）



まずは、準備運動として「ラジオ体操」
(インストラクター：押味亜里沙さん)



「東北復興グリーンウェイブ」福島での活動発表
(霊山三育こども園 斎藤園長、田島保育園 渡部園長)



田島保育園 卒園児による和太鼓グループ「龍巳会」
による、田島太鼓のパフォーマンス



会場に、福島の復興のメッセージが響き渡りました。



みんなで「♪どんぐりえがお」ダンスを踊りました。



最後に記念撮影。また来年会いましょう！



ブース訪問：どんぐり〜ずと
東京都「中目黒駅前保育園」のお友だち



ブース訪問：千葉県「今井保育園」のお友だち

3. 事務局からのお知らせ：「全国集会&研修会2018」（福岡大会）参加者募集

年に一度、全国の参加園が集い、情報交換と交流、そしてこれからのより良き活動を協議する「全国集会&研修会2018」が下記の内容で開催されます。今回は「JP子どもの森づくり運動10周年記念大会」として福岡県北九州市での開催となります。節目となる大会です。出来るだけ多くの方々にお集まりいただき、今後の活動について協議できればと思っています。万象お繰り合わせの上、ご参集いただけます様お願い申し上げます。

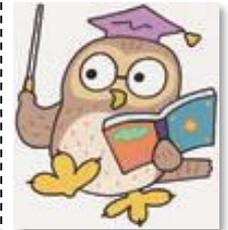
詳細、参加のお申込みは、別紙の募集チラシをご参照願います。ホームページでもご案内しております。

<開催概要>

1. 日時：2018年2月15日（木）、16日（金）
2. 会場：「ホテルニュータガワKOKURA」福岡県北九州市小倉北区古船場町3番46号
3. 主催：JP子どもの森づくり運動「全国集会&研修会2018」福岡大会実行委員会（幹事園：若久青い鳥保育園）
4. 共催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
5. 特別協賛：日本郵政グループ
6. 後援：公益社団法人福岡県保育協会
7. 協力：(公社)全国私立保育園連盟 (公社)大谷保育協会 保育環境研究所ギビングツリー、他
8. 募集対象者（数）：保育園 幼稚園 こども園職員 保育団体関係者（約50名）
9. 主な内容、及び講師名
 - ・記念講演：「自然体験活動が子どもに育むこと」 河口湖自然楽校 校長 タレント 清水国明氏
 - ・基調講演：「自然保育が育む人生の根っこ」 長野県 次世代サポート課 竹内延彦氏
 - ・幼児の自然体験講座「ネイチャーゲーム入門」 飯田女子短大 幼児教育科講師 田中住幸氏
 - ・防災講座：「本当に子どもの命を助けるために」(株)タフ・ジャパン 代表 消防庁アドバイザー 鎌田修広氏
 - * オプション講座：北九州市環境ミュージアム「北九州地球の道」環境プログラム体験



- 新・どんぐり博士の育苗講座(2017年12月号) ～どんぐりの木ってどんな木①コナラ～
- 子森ネットの活動も10年になり、初期に植え付けたどんぐりの木は二階の窓ほどにもなりました。これらの木々はどのような性質を持っているのでしょうか。
また大きさ形はどうなるのでしょうか。今回から数回に分けて説明します。
子森ネット「どんぐり博士」：河内和男（森林インストラクター）



多くの園で植え付けに使われたどんぐりの一つがコナラです。今回は東北復興グリーンウェイブで全国に送られるどんぐりの中心でもあるコナラについてです。

コナラは日本にずっと昔から存在する在来種で、冬には葉を落とす落葉広葉樹です。どのくらいまで大きくなるかという、高さは最大20m、幹の直径は最大60cmと大きな木になります。しかし、高さが30mにもなるスギ、ケヤキ、ブナ、それに枝葉を大きく広げる（樹幹が大きい）タブノキほどの大木にはなりません。

また、コナラは生育のためにできるだけ強い光を必要とする陽樹の傾向を持つ木です。光が十分な場所では成長が早いのですが、森の中などでは、光の当たらない部分の枝をすべて無くしてしまい、森の天井部分にだけ樹幹を広げたいびつな格好となります。そのため、利用と管理がされなくなった里山のコナラは、樹高に対して葉の量が少なくなり木の勢いが弱まります。それで、樹皮や幹がボロボロになって枯れてしまうものも見られます。

それに対し、日当たりの良い広い場所に1本で育った木は、手が届くところまで枝を付け、縦長で楕円形の樹幹（枝葉の広がり）となります。葉を多く茂らせているので、健康に生長し、先にあげた最大直径になることもできます。条件が良ければ数百年生き続けるでしょう。

コナラを育樹する際は、1本1本の木々への日当たり確保を考慮して行う必要があります。